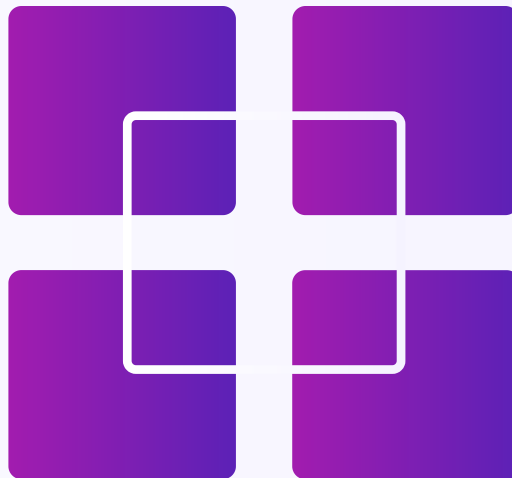


Vimを使ってみよう

君も今日からvimmerになれる

Contents

1. なぜVimなのか
2. テキストエディタとしてのvim
3. Vimに触ってみる
4. Vimの4つのモード
5. Vimでのファイル操作
6. Vimでカーソル移動する
7. Vimの将来



なぜVimなのか

- 1991年に誕生したCLIテキストエディタ:
 - 根強い人気
 - IDEではない
- **爆速コーディング:**
 - マウス無しの豊富なキーバインド
 - 3種類のモード
- **豊かなカスタマイズ性:**
 - 豊富なプラグイン
 - 設定をいじるだけで一日が溶ける



テキストエディタとしてのvim

CLI (Command Line Interface) テキストエディタ

- Vscode, JetBrains IDE群はGUI (Graphical User Interface) のエディタ
- CLIだとEmacs, nano, hilix (最近でたやつ)がある

マウスの概念が存在しない

- マウス無しでテキストの編集、選択、カーソル移動
- マウスを触らない -> キーボードしか触らない -> 爆速コーディング

最小限の機能、豊富なカスタマイズ性

- デフォルトでは最小限の機能しかない
 - .vimrcファイルで設定管理

```
set number " 行番号が表示される
set syntax " シンタックスハイライト
```

- 豊富なプラグイン

Vimを触ってみる

起動する

- ターミナルを開く
- vimと入力
- vim起動完了

終了する

- :qと入力する (quit)

Vimは怖くない

Vimの4つのモード

Normal Mode

ESC入力

Insert Mode (編集)

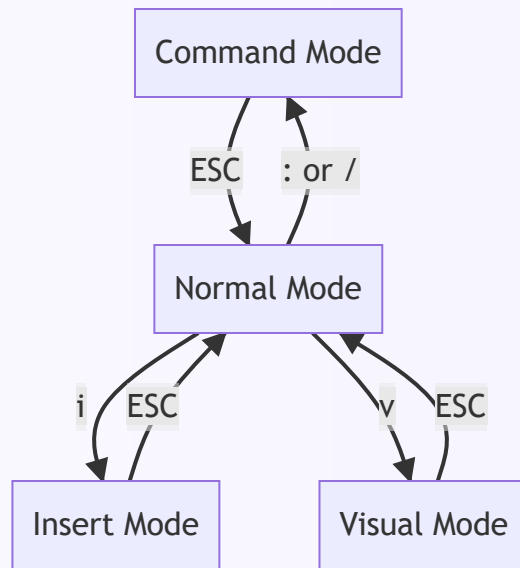
Normal modeでi入力

Visual Mode (選択)

Normal modeでv入力

Command Mode (コマンド実行)

Normal modeで:, /入力



Vimでのファイル操作

基本的にCommand modeで行なう

ファイルを開く

`:e edit`

ファイルを保存する

`:w write`

Vimを閉じる

`:q quit`

Vimでカーソル移動する

基本的にNormal modeで行なう

基本

- **h, j, k, l**: 右, 下, 上, 左

画面移動

- **Ctrl + d**: 0.5画面下移動 (down)
- **Ctrl + u**: 0.5画面上移動 (up)
- **Ctrl + f**: 1画面下移動 (forward)
- **Ctrl + b**: 1画面上移動 (backward)

Vimでカーソル移動する

基本的にNormal modeで行なう

行内移動

- **0**: 行頭に移動
- **\$**: 行末に移動

ファイル先頭、末尾

- **gg**: 先頭に移動
- **G**: 末尾に移動

Vimの将来

Vimの課題

- メンテナーが1人しかいない
- VimScriptで実装されている
 - 実装のために新しい言語を覚える必要がある

Neovimの登場

- API実装
- Neovim v0.5.0からLua実装



僕が考えた最強のvimrc

<https://github.com/taro0079/Dotfiles>